



リリースノート

バージョン:	15 Upgrade #2.3 WorkWithPlus for Web / WorkWithPlus for Native Mobile
更新日:	2023 年 11 月 7 日
互換性:	GeneXus 18



目次

WorkWithPlus 15 Upgrade #2	3
WorkWithPlus 15 Upgrade #2 のインストール	5
WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #2 への更新	5
WorkWithPlus for Native Mobile 15 Upgrade #2 への更新	8
解消済みの問題 (v15 Upgrade #2.1)	11
新機能および解消済みの問題 (v15 Upgrade #2. 2)	12
解消済みの問題 (v15 Upgrade #2. 3)	13



WorkWithPlus 15 Upgrade #2

本書では、WorkWithPlus for Web および Native Mobile のバージョン 15 Upgrade #2 の機能の概要、および採用するにあたって考慮する必要のある事項について説明します。

バージョン 15 Upgrade #2 は、2023 年 10 月 18 日にリリースされました。

ダウンロード

このバージョンは GeneXus Japan の[製品ダウンロード](#)ページからダウンロードできます。

概要

このアップグレードには、アプリケーションを作成するためのオプションを増やすために、[デザイン システム ウィザード](#)の新しいオプションとカスタマイズが含まれています。この新しいバージョンでは、動的フォームの作成、AI を活用したアプリケーションへの意図ベースのナビゲーションの追加などが可能になります。

新機能については、以下のリンク先を参照してください。

<https://docs.workwithplus.com/wiki?4753>

互換性

このバージョンは、GeneXus 18 Upgrade 0 以降のバージョンと互換性があります。

採用方法

WorkWithPlus for Web の環境の場合、「[WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #2 への更新](#)」で説明されている手順に従う必要があります。

WorkWithPlus for Native Mobile の環境の場合、「[WorkWithPlus for Native Mobile 15 Upgrade #2 への更新](#)」で説明されている手順に従う必要があります。



詳細については、[クイック スタート ガイド](#)を参照してください。



WorkWithPlus 15 Upgrade #2 のインストール

ダウンロードとインストール

お使いの GeneXus バージョンに応じて GeneXus Japan の[製品ダウンロード](#)ページからセットアップをダウンロードし、手順に従ってセットアップを実行します。

ライセンスの有効化

初めて WorkWithPlus for Web をインストールする場合で、まだライセンスがインストールされていない場合は、お買い求めのパートナーまたは弊社まで WorkWithPlus for Web ライセンスの取得方法をお問い合わせください。

既に WorkWithPlus for Web のライセンスを所有していて、最新のメンテナンスを行っている場合には、ライセンスを更新する必要はありません。WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #2 をインストールするだけで、すぐに使用できるようになります。

既に WorkWithPlus for Web のライセンスを所有していて、最新のメンテナンスを行っていない場合には、お買い求めのパートナーまたは弊社まで WorkWithPlus for Web ライセンスのアップグレード方法をお問い合わせください。

ナレッジベースの変換

ナレッジベースを以前の WorkWithPlus バージョンから WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #2 に移行する予定がある場合は、次の「[WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #2 への更新](#)」を参照してください。

WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #2 への更新

WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #2 をインストールすると、次のシナリオが可能になります。

既存のデザインシステムで WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #2 を使用する

このシナリオでは、WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #2 セットアップをインストールし、KB を開きます。これで、新しい機能を使用したり、通常どおりアプリを実行したりする準備が整いました。

WorkWithPlus を任意のオブジェクトに適用すると、WorkWithPlus はカスタマイズ（最後にデザイン システム ウィザードを実行するときに選択したもの）に従ってベースのデザインシステムを再インポートし、新しいテンプレートもインポートします。

常に回帰テストを実行して、各バージョン内で生成されたコードが同じであることを確認するために、画面を再度テストする必要はありません。

WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #2 を使用し、利用可能なデザインの1つを適用する

既に実行している KB で WorkWithPlus for Web を実行する場合、特定のシナリオで従うべき手順がいくつかあります。

「デザイン システム ウィザード」を実行して新しいデザイン システムを選択するか、現在のデザインシステムを選択して変更を加えると、WorkWithPlus はウィザードの前回の実行で行った変更に必要なオブジェクトのみをインポートします。また、WorkWithPlus 設定では、すべてのルール、自動条件、ラベル、オブジェクト名、テンプレートなどが維持されます。そのため、いくつかのシナリオが考えられます。

シナリオ 1: 既存のテンプレートを再インポートする必要はない

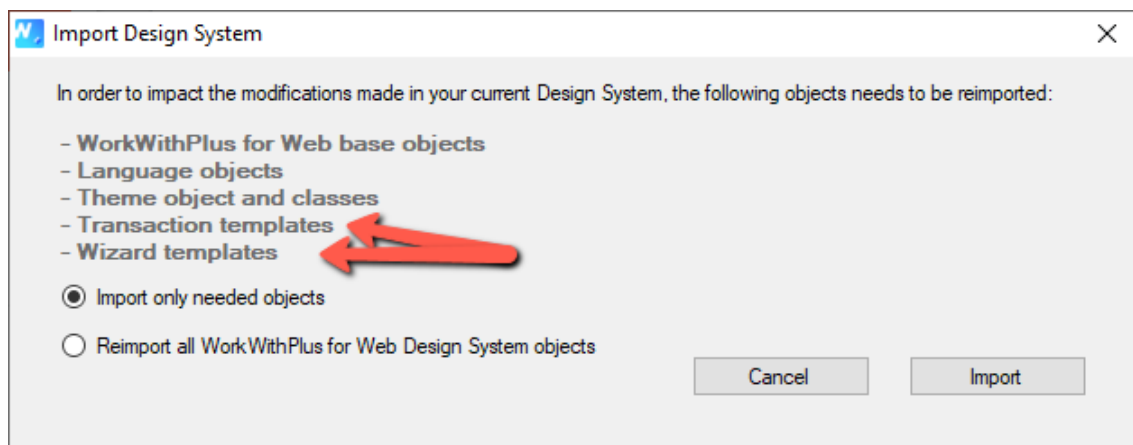
この場合、ウィザードを再実行する手順は次のとおりです。

1. デザイン システム ウィザードを実行し、任意のデザインシステムを選択して、必要なカスタマイズを行います。
2. WorkWithPlus メニュー -> 「パターンインスタンス」 -> 「すべてのパターンを適用」と選択します。

シナリオ 2: 既存のテンプレートを再インポートする必要がある

この場合、ウィザードを再実行する手順は次のとおりです。

1. WorkWithPlus メニュー -> 「パターンインスタンス」 -> 「すべてのインスタンスを更新済みとしてマーク」と選択します。
2. デザイン システム ウィザードを実行し、任意のデザインシステムを選択して、必要なカスタマイズを行います。ウィザードの最後の手順で、WorkWithPlus for Web が KB オブジェクトで使用しているテンプレートの一部（トランザクションテンプレート、リスト オブジェクト テンプレートなど）をインポートすることが表示されます。



3. WorkWithPlus メニュー -> 「パターンインスタンス」 -> 「すべてのインスタンスを更新」と選択します。
4. アプリケーションを実行します。

WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #2 を Theme オブジェクトとともに使用する (WorkWithPlus for Web 14 以前で作成されたテーマ)

このシナリオでは、WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #2 セットアップをインストールし、KB を開きます。これで、新しい機能を使用したり、通常どおりアプリを実行したりする準備が整いました。

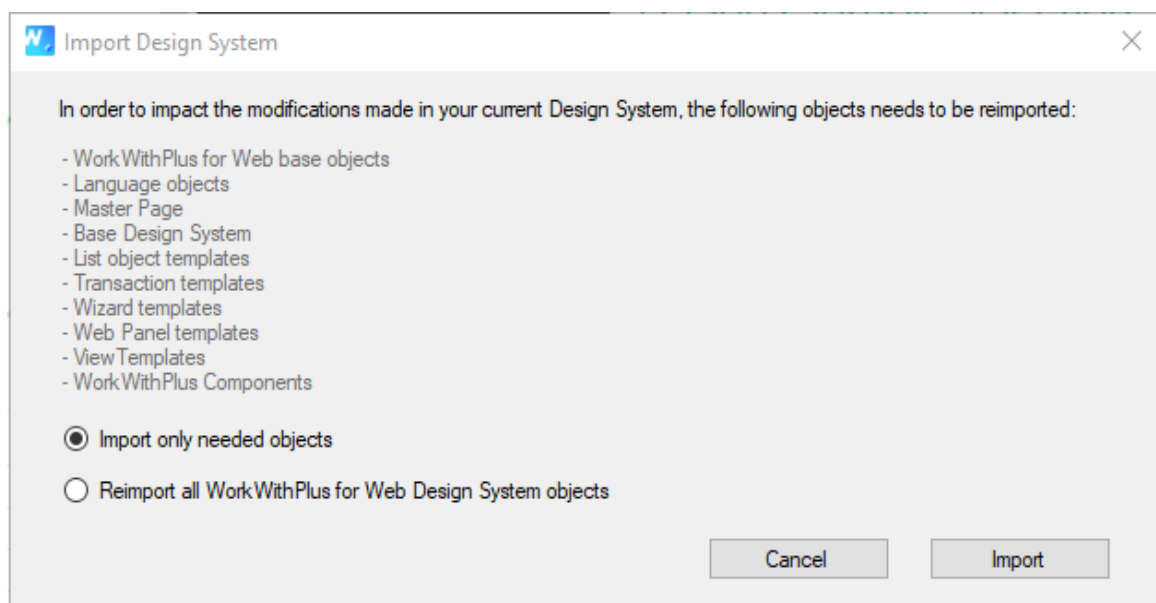
新しい WorkWithPlus コンポーネントと更新されたテンプレートは、Design System オブジェクトのクラスを使用するため、デザイン システム ウィザードを実行するまで適用されません。デザイン システム ウィザードを実行せずにコンポーネントを取得したい場合は、次の手順に従う必要があります：[「現在の KB 内のコンポーネントの影響」](#)

常に回帰テストを実行して、各バージョン内で生成されたコードが同じであることを確認するために、画面を再度テストする必要はありません。

WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #2 を使用して Design System オブジェクトに移行する

(WorkWithPlus for Web 14 を使用していたか、以前はデザインシステムに移行しなかったなどの理由により) Theme オブジェクトを使用して作業を続けており、Theme オブジェクトの代わりに Design System オブジェクトを使用して KB を作成したい場合は、次の手順に従う必要があります。

1. WorkWithPlus メニュー -> 「パターンインスタンス」 -> 「すべてのインスタンスを更新済みとしてマーク」と選択します。
2. デザイン システム ウィザードを実行し、現在のデザインシステムを選択して、最後のステップに進みます
WorkWithPlus は、再インポートするオブジェクトを表示します。





デザイン システム ウィザードの実行中にカスタマイズを行うことができます。その場合、他のオブジェクトがインポートされることがあります（これは、前に表示されるメッセージで指定されます）。

HTML からレスポンシブ Web デザインへの移行

ナレッジベースがまだ HTML で表示されている（レスポンシブでない）場合は、次のリンクも参照することを強くお勧めします。

- [HTML とレスポンシブ Web デザインの主な違い](#)
- [WorkWithPlus を使用せずに WebPanel をレスポンシブ Web デザインに移行する](#)

WorkWithPlus for Native Mobile 15 Upgrade #2 への更新

WorkWithPlus for Web と Native Mobile で 15 Upgrade #2 をインストールすると、次のシナリオが可能になります。

WorkWithPlus for Web および Native Mobile 15 以前のアップグレードからの移行

WorkWithPlus for Native Mobile 15 (Upgrade #0 または Upgrade #1) を使用して作成されたナレッジベースから移行する場合は、次の操作を実行できます。

テンプレートを更新せずに、デザインとパネルを維持する

このシナリオでは、ナレッジベースで操作を実行する必要はありません。セットアッププログラムを実行して、通常どおり作業を続けるだけです。

テンプレートを更新しない場合、Work With テンプレートやアニメーションなどの一部の新機能が使用できなくなることを考慮してください。

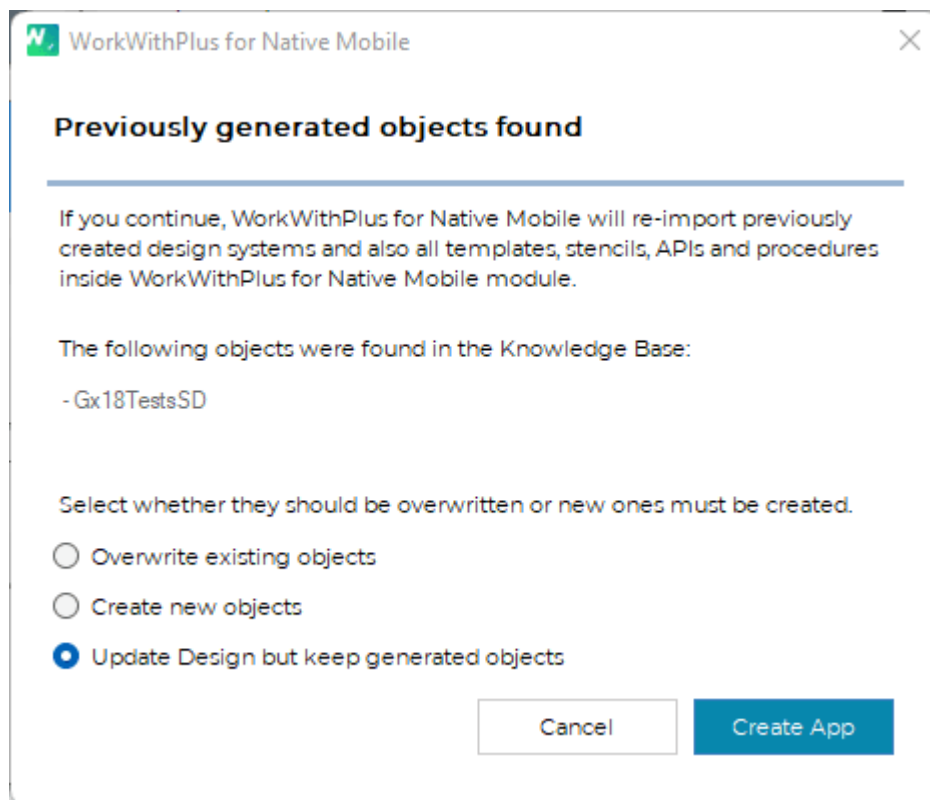
デザインとパネルは維持するが、すべてのテンプレートとベース デザイン システムを更新する

新しい機能（Work With テンプレートやアニメーションなど）の使用を開始するには、ナレッジベースのテンプレートとベースとなる API オブジェクトを更新する必要があります。

シナリオ 1: 変更を損なわずに更新する

テンプレートと API を更新するには、デザイン システム ウィザードを実行し、最初に選択したものと同じデザインを選択する必要があります。（例：E コマース）

WorkWithPlus は、KB 内に以前にオブジェクトを作成したことを通知するダイアログを表示します。ここで、**[既存のオブジェクトを変更せずにデザインのみを更新]**: オプションを選択する必要があります。



WorkWithPlus は次を実行します：

- すべてのテンプレートの更新
- 新しいテンプレートのインポート
- ベースとなるデザインシステムの再インポート（ベースのデザインシステムに変更を加える必要はありませんが、変更を加えた場合、変更は損なわれます）
- ベースのリソース（画像、フォント、API、サンプルプロシーチャーなど）の再インポート

このオプションを選択しても、生成されたオブジェクトは**変更されません**。

- ホームパネル
- メニューパネル
- ログインパネル
- ユーザー登録パネル
- ユーザー デザイン システム

つまり、上記のオブジェクトを変更していない限り、最初のデザインシステムの実行後に適用したオブジェクトやデザインのカスタマイズは失われません。

シナリオ 2: 生成されたオブジェクトを更新および上書きする

オプションとして、代わりに「既存のオブジェクトを上書き」オプションを選択できます。

これにより、必要なすべてのオブジェクトが更新されます（上記のオプションと同様）。ただし、次のオブジェクトは上書きされます（選択されている場合）。

- ホームパネル
- メニューパネル
- ログインパネル
- ユーザー登録パネル

このオプションを使用すると、テンプレートを変更したり、上記のオブジェクトを元の状態に復元したりできます。

古いバージョンまたは外部デザインからの移行

古いバージョンまたは外部デザイン（WorkWithPlus で作成されていないデザイン）から移行する場合は、次のいずれかを行うことができます。

テンプレートを使用せずに、デザインとパネルを維持する

このシナリオでは、デザイン システム ウィザードを実行し、[デザインをスキップ] オプションを選択する必要があります。

これにより、階層エディターと基本機能を使用するために必要な最小限の API とオブジェクトがインポートされます。

テンプレートおよびデザインを更新しない場合、テンプレート、アニメーションおよびフォントアイコンなどの一部の新機能が使用できなくなることを考慮してください。

デザイン システム ウィザードを使用して新しいアプリケーションを作成し、変更内容を移行する

すべての機能を使用するには、デザイン システム ウィザードを使用して新しいアプリケーションを作成する必要があります。

現在のデザインに最適なデザインを選択し、ウィザードに従ってください。

アプリケーションが作成されたら、テーマの変更を新しいデザインシステムに手動で移行する必要があります。



解消済みの問題 (v15 Upgrade #2.1)

リリース日: 2023 年 10 月 25 日

GAM の完全なバックエンドとページのタイトルに関する問題

Issue 12976

完全なバックエンドとページ上のタイトルを備えた GAM を選択してデザイン システム ウィザードを実行する場合、オブジェクトをインポートしようとするエラーを返します。

イタリア語と Dynamic Forms モジュールの問題

Issue 12974

イタリア語の Dynamic Forms モジュールを含めようとする、オブジェクトのインポート時にエラーを返します。

セキュリティなしの通知およびサブスクリプションモジュールおよび Dynamic Forms モジュールの問題

Issue 12975

セキュリティなしで通知およびサブスクリプションモジュールを Dynamic Forms モジュールと共にインポートしようとする、オブジェクトのインポート時にエラーを返します。

複数のビューを持つリストのグリッドの [Group Type] プロパティ

Issue 12969

複数のビューを持つリストがある場合、通常のグリッドの [Group Type] プロパティは表示されません。

複数のビューを持つリストのグリッド内の「Confirm = True」のアクション

Issue 12970

複数のビューを持つリストのグリッド内で「Confirm = True」のアクションがある場合、パターンを適用するときにいくつかのエラーが表示されます。

WorkWithPlus for Web でセキュリティタイプを Advanced に設定している場合に WorkWithPlus をパネルに適用する (Native Mobile)

Issue 12955

「セキュリティタイプ= Advanced」で設定された WorkWithPlus for Web を備えたナレッジベースがあり、Native Mobile も設定されている場合、パターンが SDPanel に適用されると、WebPanel NotAuthorized への呼び出しが開始イベントに追加されます。



フリー スタイル グリッド内のポップアップとして標準アクションを含む Drop Down アクショングループ

[Issue 12936](#)

標準アクションをポップアップとして含む Drop Down アクショングループ（フリー スタイル グリッド内）を持つ Card リストがある場合、アクショングループは正しく機能しません。

BC に基づく変数で「現在のパネルのレイアウトから作成」を使用する

[Issue 12931](#)

WorkWithPlus を使用せずに、レイアウト内のビジネス コンポーネントに基づく変数を含む Web パネルを作成した場合、「現在のパネルのレイアウトから作成」機能を使用して WorkWithPlus インスタンスを作成すると、次のエラーが表示されます。

不明な eDBType: GX_BUSCOMP (DDevelop.Patterns.WorkWithPlus)

BC を使用した WebPanel のユーザーコードと「レコードオプションの追加」による拡張コンボ

[Issue 12927](#)

Web パネルに BC があり、その項目属性の 1 つをユーザーコードと「レコードオプションの追加」の拡張コンボで設定すると、実行時に正しく機能しません。

リストテンプレートに基づくパネルの複数のレイアウト（Native Mobile）

[Issue 12899](#)

リストテンプレートに基づくパネルに複数のレイアウトを追加しようとすると、パターンを適用するときに次のようなエラーが表示されます。

===== パターン生成（WorkWithPlusPanel1）が開始されました =====

エ ラ ー : 「 DDevelop.Patterns.WorkWithPlus.LayoutElement 」 タ イ プ の オ ブ ジ ェ ク ト を 「DDevelop.Patterns.WorkWithPlus.IGeneratedObject」タイプにキャストできません。

新機能および解消済みの問題 (v15 Upgrade #2.2)

リリース日:2023 年 11 月 3 日

新機能

次の機能が WorkWithPlus 15 Upgrade#2.2 で追加されました。

- 日付ピッカーによる日付の書式設定
- アクショングループの DetailWebComponent
- MSBuild タスク



問題

初期値と「Allow multiple selection = true」の項目属性に基づくタイトルフィルタ

[Issue 12981](#)

初期値と「Allow multiple selection = true」の項目属性にタイトルフィルタ (例: コンボボックスの項目属性) がある場合、GeneXus によって指定された後、Export オブジェクトはエラーを返します。

Display または Delete モードのトランザクションの従属レベル (グリッド) での拡張コンボ

[Issue 12977](#)

トランザクションの従属レベル (グリッド) に拡張コンボがある場合、ページが Display または Delete モードでアクセスされると、デスクリプションの代わりに値が表示されます。

解消済みの問題 (v15 Upgrade #2.3)

リリース日: 2023 年 11 月 7 日

GeneXus 18 U6 の GAM の互換性

WorkWithPlus 15 Upgrade #2.3 は、GeneXus 18 U6 の GAM と互換性があります (GAM およびドメインの一部のオブジェクトの名前が変更されています)。